

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第63回理事会

平成14年7月

第63回理事会議事録

1. 開催日時

2002年7月15日（月） 18:00～21:00 スクワール麹町「寿」

2. 定足数の報告

事務局から、理事の現在数は14名、出席理事7名、委任状による出席理事4名で、寄付行為第28条に定める定足数を満たしている旨の報告があった。

〔出席理事〕 有馬真喜子理事、伊勢桃代理事、大沼保昭理事、宮崎勇理事、
村山富市理事、山口達男理事、和田春樹理事

〔委任状出席理事〕 石原信雄理事、衛藤藩吉理事、大鷹淑子理事、下村満子理事

〔監事〕 橋本豊監事

〔オブザーバー〕 内閣官房副長官補室 横田敬一事務官

外務省アジア大洋州局地域政策課 宮川真喜雄課長
同 古屋健事務官

〔事務局〕 斉藤昭弘総務部長、松田瑞穂業務部長、叶俊寛渉外部長、
山崎事務員

3. 議事録署名人の選出

議長に一任、議長は有馬真喜子理事、和田春樹理事を指名した。

4. 議題

① フィリピンのMOU延長

7月10～12日にフィリピンに赴いた有馬理事より、償い事業の一環である医療福祉支援事業は、6月30日には完了していない実態にあり、この作業を完了するには3ヶ月（9月末）程度の期間を要するため、その手続きとしてMOUの延長を要するとの報告があった。審議の結果、報告のとおりMOUの延長が了承された。

② 記者会見

第62回理事会（6月24日開催）で、7月18日に記者会見を行うことが合意されていたが、これを取りやめ、フィリピンでの作業がすべて完了した後開催することで合意された。記者会見の日時、並びに、これまで準備された記者会見時の配布資料と想定問答の内容などについては、次回の理事会であらためて再検討することとされた。

③ 新聞広告

第62回理事会で合意された国民の皆様への募金のお礼、募金活動終了の告知を行うための新聞広告は掲載することで了承された。ただし、広告の内容については、理事会閉会后、出席理事のうち、有馬、大沼、和田理事を中心に調整し確定することとされた。

④ 基金ニュース

年2回発行している基金ニュースについては、今年度は、上記新聞広告が掲載されたとき1回、3国・地域の事業が完了し記者会見を実施するときに1回、発行することとされた。

⑤ 償い事業終了後のアフターケア

事務局より配布資料の説明があり、次回理事会で検討することとされた。

理事会は、上記の議論をふまえ、運営審議会に以下の事項について諮問した。

- (1) 事業終了の記者会見等に関する資料の内容の再調整
- (2) フィリピン、韓国、台湾における償い事業終了後のアフターケア、および、継続中のインドネシアにおける事業
- (3) 小冊子③の扱い
- (4) 〈継続〉評価に関すること

5. 報告事項

① 平成14年度医療福祉支援事業予算の扱い

事務局より報告があった。

② 寄附金年度別収支状況

事務局より報告があった。

以上をもって、理事会は議了したので、議長は閉会を宣した。

この議事録が正確なものであることを証するため、下記に署名押印する。

平成14年7月15日

議長 (理事長)

林山富幸

議事録署名人 (理事)

和田春穂

同 (理事)

有馬真喜子